

# 稟 議 書

件 名：CSR マルシェ試行導入に関する件

## 1. 稟議の趣旨

本件は、当社の遊休スペースを活用した CSR 施策「CSR マルシェ」を試行導入し、業務負担および費用負担を最小限に抑えつつ、実効性のある CSR 活動の可否を検証することについて、ご承認をお願いするものです。

## 2. 背景

近年、CSR・サステナビリティ・SDGs への対応は、企業価値の向上や対外的評価、採用力の強化等の観点からも重要性が高まっています。

一方で、従来型の CSR 施策では、

- 新規施策立案に伴う人的リソース不足
- 継続実施に係るコスト負担
- 活動成果の可視化・説明の難しさ

といった課題があり、現場負担を増やさずに実行可能な手法が求められています。

このような状況を踏まえ、既存資産（遊休スペース）を活用した CSR マルシェの試行導入を検討するものです。

### 3. 施策概要（CSR マルシェの内容）

CSR マルシェとは、当社が保有するロビー等の遊休スペースを無償提供し、一般社団法人（非営利法人）が運営主体となってマルシェを開催する CSR 施策です。

- 当社：会場（遊休スペース）の提供のみ
- 運営：一般社団法人が出店者管理・運営・会計を担当
- 出店者：食品・物販等の小規模事業者
- 収益：運営経費控除後、寄付可能額を算出

当社は販売・運営責任を負わず、追加業務は発生しません。

### 4. 期待される効果

#### 1.CSR・SDGs への実効的貢献

活動の結果が寄付として可視化され、社会課題解決に直接つながる。

#### 2.社内外への説明性向上

金銭フロー・寄付先・運営ルールが明確で、CSR 報告・広報に活用可能

#### 3.企業イメージおよびエンゲージメント向上

社員・来訪者が CSR を身近に体感でき、企業姿勢の自然な発信につながる。

### 5. ガバナンスおよびリスク対応

- 非営利法人の定款・規程に基づく運営
- 会計処理および活動報告の透明性を確保
- 寄付先は当社が選定し、連名にて寄付を実施
- 広報・对外発信は当社確認・承認の上で実施

当社に追加的な法的・運営上の責任は生じません。

## 6. 試行導入内容（案）

- 実施期間：[ 年 月 日 ～ 年 月 日 ]
- 開催頻度：[ 例：月1回／全〇回 ]
- 使用場所：[ ロビー・共用部 等 ]
- 当社負担：会場提供のみ（費用負担なし）

## 7. 稟議事項

上記内容に基づき、CSR マルシェの試行導入について承認をお願い申し上げます。

備考

本稟議書は、CSR マルシェ導入検討にあたり、

AI Open chat GTP を活用して「一般社団法人みんなでマルシェ CSR 」ホームページを基に構成整理・文章作成を行ったものです。